

学術部からの お知らせ

生物化学分析部門講演会

日 時 平成28年11月12日(土) 14:00～17:00
場 所 倉敷芸術科学大学 2号館2101室
内 容 「緊急検査(緊急検査演習および血液ガスデータ判読)」
 「重炭酸濃度の測定法と測定意義」
 川崎医科大学附属病院 古川 聡子 先生
 「クリティカルケアの現場で要望される臨床検査とその課題」
 ラジオメーター株式会社 営業企画部 シニアマネージャー 三沢 泰一 先生
 「血液ガスデータの簡単な読み方」
 倉敷芸術科学大学 准教授 藤本 一満 先生

生医教育点数 専門-20点
参加費 500円
問合せ先 倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科 藤本 一満
 TEL: 086-440-1039 E-mail: fujimoto@scl.kusa.ac.jp

☆講演会のポイント:血液ガス分析で得られる重炭酸データの読み方および酸塩基平衡の読み方の実例を提示し、わかりやすく説明します。緊急検査に関わる各種POCT装置に触れて頂き(演習形式)、操作法と注意点を学びます。

※大学までは、新倉敷駅から両備バスあるいは自家用車をご利用下さい。
 尚、自家用車の方は、入場門で守衛室に声をかけて入場してください。(駐車料金は無料です)
 ※詳細事項は9月号同封の別紙案内、岡臨技HPでご確認下さい。

臨床微生物部門講演会

日 時 平成28年11月19日(土) 15:00～17:00
場 所 岡山済生会総合病院 管理棟4階「さいゆうホール」
内 容 「解説 抗酸菌検査ガイド2016」
 京都大学医学部附属病院 検査部 副臨床検査技師長 樋口 武史 先生

生医教育点数 専門-20点
参加費 500円(臨床検査技師、医師、看護師、その他メディカルスタッフ)
問合せ先 川崎医科大学附属病院 中央病院検査部 石松 昌己
 TEL: 086-462-1111 E-mail: isimatu@med.kawasaki-m.ac.jp

☆講演会のポイント:今年、日本結核学会から抗酸菌検査ガイド2016が発行されました。講師の樋口先生は、抗酸菌検査に関して造詣が深く、抗酸菌の塗抹・培養検査・IGRA検査など多岐にわたり分かりやすく解説していただきます。今回の講演は、臨床検査技師だけでなく医師、看護師を含めた医療関係者の方々も対象としております。

※詳細事項は9月号同封の別紙案内、岡臨技HPでご確認下さい。

臨床検査総合部門講演会

日 時 平成28年11月24日(木) 19:00～20:30
場 所 津山中央病院 研修センター2階 講義室
内 容 「検査の未来像 ～これからの臨床検査技師に求められるもの～」
 松田病院 岡本 由美 先生

生医教育点数 基礎-20点
参加費 500円
問合せ先 津山中央病院 臨床検査部 小林 尚子
 TEL: 0868-21-8111 E-mail: takako_k@tch.or.jp

☆講演会のポイント:従来の検査業務は、迅速で正確な検査結果を出す事が主体でしたが、最近ではチーム医療、検体採取、検査結果説明などを通じ検査に付加価値をつけることが求められています。又、検査結果を解析した診療の支援、精度保証や医療安全についても講演していただきます。

臨床血液部門講演会

日 時 平成28年12月3日(土) 15:00～16:30
場 所 川崎医療短期大学 体育館 101教室
内 容 「凝固検査データの保証と見方」
 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 下村 大樹 先生

生医教育点数 専門-20点
参加費 500円
問合せ先 松田病院 植本 美佐夫
 TEL: 086-422-3550 E-mail: up330@okaringl.or.jp

☆講演会のポイント:講師施設において、実際に行われている凝固検査におけるデータ異常に遭遇した際の考え方・取り組み方をわかりやすくご講演していただきます。

※駐車場は外来駐車場をご利用ください。(1時間100円) 自費でお願いします。

臨床生理部門講演会

日 時 平成28年12月10日(土) 14:00～17:00
場 所 倉敷中央病院 大原記念ホール
内 容 「肺機能検査 ～正しいデータのとりえ方・読み方を学ぶ会～」
 「肺機能検査のデータの捉え方・読み方について」
 奈良県立医科大学附属病院 主任主査 高谷 恒範 先生
 「肺機能検査の基礎」
 倉敷中央病院 臨床検査技術部 坂井 基礎 先生
 「呼吸NO検査について」
 チェスト株式会社 広島営業所 永岡 隆 先生

生医教育点数 専門-20点
参加費 500円
問合せ先 倉敷中央病院 臨床検査技術部 筑地 日出文
 TEL: 086-422-0210 E-mail: chikuj@mail.jss.org

☆講演会のポイント:肺機能検査のデータの読み方について、基礎から臨床まで、検査技師の立場からわかりやすく講演して頂きます。日ごろの疑問点をここでスッキリさせましょう。また今話題の呼吸NO検査について勉強しましょう。

※詳細事項は10月号同封の別紙案内、岡臨技HPでご確認下さい。

病理細胞部門講演会

日 時 平成29年1月14日(土) 14:00～17:30
場 所 岡山大学医学部保健学科301大講義室
内 容 困った病理4「病理検査とホルマリン管理」
 「ホルマリン管理の現状報告 -岡山済生会病院の現状-」
 岡山済生会総合病院 野口 裕太郎 先生
 「ホルマリン管理の現状報告 -岡山大学病院の現状-」
 岡山大学病院 瀧田 香菜 先生
 「ホルマリン管理の現状報告 -岡山協立病院の現状-」
 総合病院岡山協立病院 山崎 友斐 先生
 「ホルマリン管理の現状報告 -県内アンケート調査のまとめ-」
 岡山大学病院 藤田 勝 先生
 「ホルマリン固定の原理とホルマリンの有害性及び法規制」
 サクラファインテックジャパン株式会社 渡辺 明朗 先生

生医教育点数 専門-20点
参加費 500円
問合せ先 岡山大学病院 病理部 藤田 勝
 TEL: 086-235-7760 E-mail: me7911@hp.okayama-u.ac.jp

☆講演会のポイント:病理検査といえばホルマリンは避けて通れないもの。そもそもホルマリンとは何なのか、そしてその毒性が取りだされる中でいかにしてホルマリンに対峙していくか。今回の講演会を通じて、県内の病理検査部門におけるホルマリン管理の現状を明らかにし、県内各施設にお願いしたホルマリン取り扱いに関するアンケート集計も交えながら、今後のホルマリン取り扱いについて議論を深めたいと思います。ぜひご参加ください。



【会員のホームページへのアクセス方法】 ユーザー名: okayama パスワード: sinpo658 でログインしてください。

◇岡山県の会員動向◇

会員数: 1,360 (8月 1,359)
 平成28年9月末現在

「会員だより」「お知らせ」などの問合せ先

倉敷リバーサイド病院 臨床検査室: 中川 裕美まで
 TEL: 086-448-1111(内線201) E-mail: hn8226@kchnet.or.jp